埼　玉　県　地　震　概　況（２０２３年４月）

熊谷地方気象台　２０２３年５月１２日

（ここに掲載する震源要素は暫定値であり、後日修正されることがあります。）

◇４月の地震概況

埼玉県内で震度１以上を観測した地震は４回でした。

１．埼玉県内で震度１以上を観測した地震（2023 年 4 月 1 日～2023 年 4 月 30 日）

No.	地震の発生日時	震央地名	緯度	経度	深さ	規模	国内最大震度	県内最大震度
1	2023/04/02 17:34	茨城県北部	36° 27.8′ N	140° 35.7′ E	55 km	M3.8	2	1
2	2023/04/08 15:01	埼玉県北部	36° 03.8′ N	139° 28.1′ E	60 km	M3.6	2	2
3	2023/04/12 05:10	千葉県北西部	35° 39.4′ N	140° 06.5′ E	70 km	M3.9	2	1
4	2023/04/17 02:25	福島県沖	37° 10.7′ N	141° 23.9′ E	46 km	M4.8	4	1

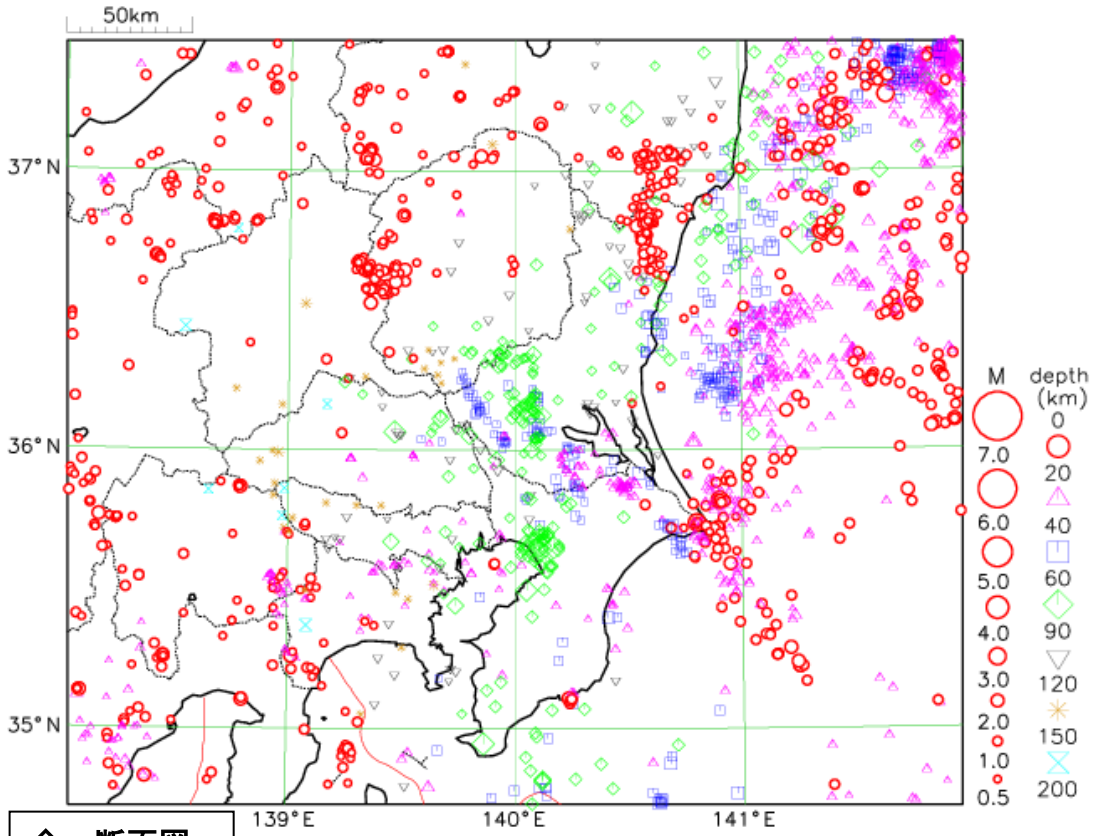
※震度分布図や観測点の表などの詳細は「震度データベース検索」をご参照ください。
（https://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.html）

２．埼玉県内で震度３以上を観測した地震（2023 年 4 月 1 日～2023 年 4 月 30 日）

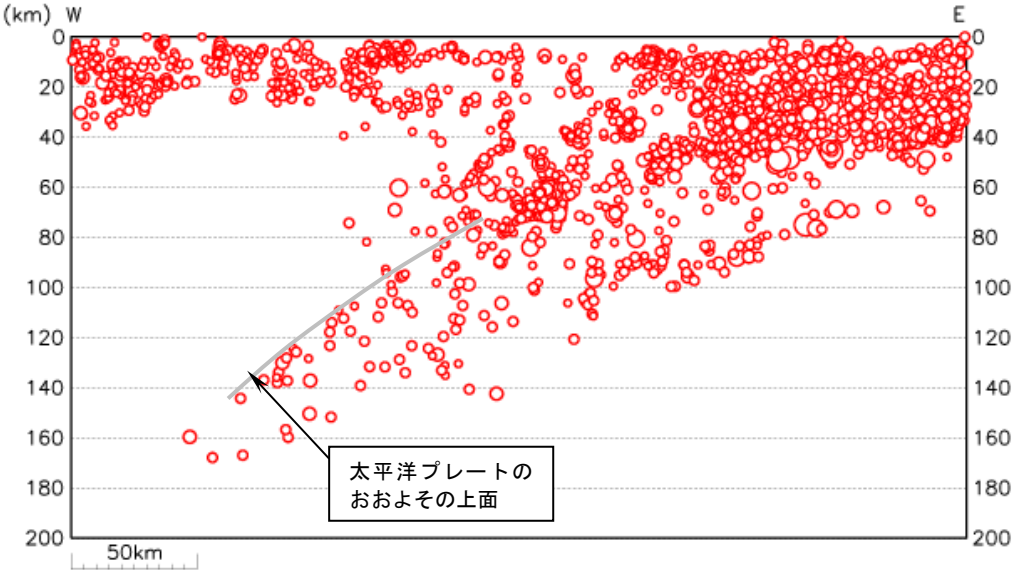
この期間、埼玉県内で震度３以上を観測した地震はありませんでした。

３．震央分布図及び断面図（2023 年 4 月 1 日～2023 年 4 月 30 日）

◇　震央分布図



◇　断面図



・Mはマグニチュードで 0.5 以上、深さは 200km までの地震を示しています。

・本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。
また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS） の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。
・本資料中で使用している地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』 を使用しています。

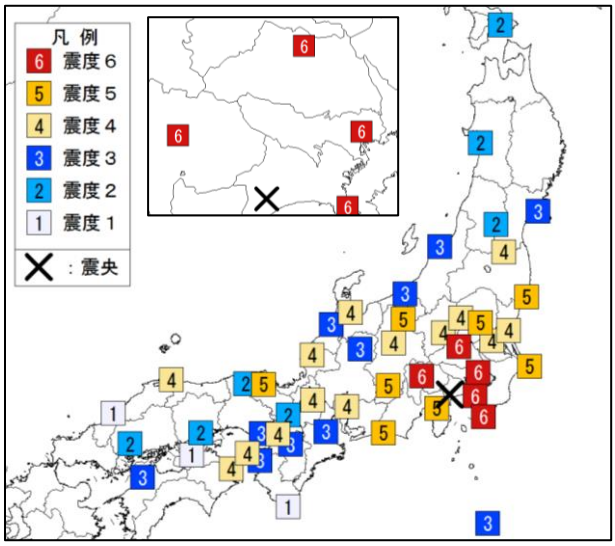
【防災一口メモ】

今年は関東大震災から１００年

今年は甚大な被害が発生した関東大震災から 100 年の節目の年となります。今改めて当時「何が起きたか」を振り返ることで、今後の地震への備えについて考えてみましょう。

○発生した地震と被害の概要

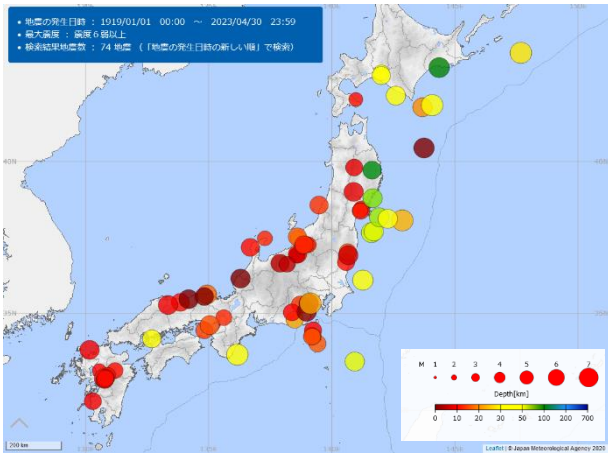
1923 年（大正 12 年）９月１日 11 時 58 分、神奈川県西部を震源とするマグニチュード 7.9 の地震が発生しました。地震の発生が昼食の時間と重なった事から、東京や神奈川の都市部を中心に多くの火災が起きて被害が拡大しました。また、沿岸部では津波、山間部では土砂災害なども発生し、死者・行方不明者は 10 万５千人余（理科年表より）にのぼりました。埼玉県内では死者（行方不明者含む）343 名、住家全壊 4,759 棟などの被害が出ています[1]。



震度分布図

左図の通り、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県で震度６を観測したほか、北海道道南から中国・四国地方にかけての広い範囲で震度５から震度１を観測しました。当時の震度階級は震度０から震度６までの７階級でしたが近年の調査研究により、家屋の倒壊状況などから相模湾沿岸地域や房総半島南端では現在の震度７相当の揺れであったと推定されています。

当時と現在では震度階級や観測方法など変わってきていることがあり（体感による観測が機械による自動化に、観測点数も熊谷１か所から各市町村１地点以上に増加しているなど）単純に比較はできませんが、観測記録としては 1897（明治 30）年１月熊谷地方気象台で観測開始以降、埼玉県内で震度６弱以上を観測したのはこの地震の他は 2011 年３月 11 日の東日本大震災（平成 23（2011）年東北地方太平洋沖地震）の 2 回です。一方で全国的にみると 1919 年以降では 74 回、ここ 10 年では 20 回発生しており、耐震化や技術が進んだ現代においても人的被害を伴う地震災害は決して他人事ではありません。



1919 年～全国で震度６以上を観測した地震の震央分布図

○気象庁ホームページ特設サイト

気象庁ホームページに「関東地震から１００年特設サイト」が開設されています。被害写真や観測データのほか、地震・津波防災に関する知識等に関する情報も掲載されていますので、こちらもぜひご確認ください。

https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/1923_09_01_kantoujishin/index.html

[1] 県内被害数は諸井孝文・武村雅之（2004）：関東地震（1923 年 9 月 1 日）による被害要因別死者数の推定，『日本地震工学会論文集』，第 4 巻，第 4 号，21-45. より